

平成26年3月4日～24日開催 **第1回(3月)定例会**

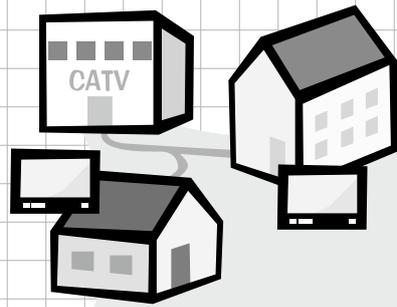
# 平成26年度 佐渡市一般会計当初予算

## ◆3月定例会の主な審議

### 1 総務文教常任委員会

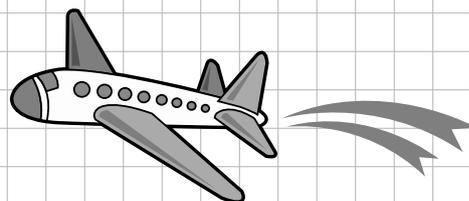
#### ①ケーブルテレビ放送施設管理事業について

CNSエリアと佐渡テレビエリアにおいて、加入負担金及び使用料の額に相違が生じているので、佐渡テレビによる指定管理への移行にあたり、これをCNSエリアに統一するよう指導すること。



#### ②空港対策事業について

佐渡一新潟便について、運休が長期化し再開の目途さえついていないが、巨額の投資に見合う費用対効果が得られていない以上、あらゆる可能性を排除せず打開策を検討し、早急に講ずるべきである。



#### ③本庁舎等建設整備事業について

借地の問題は喫緊の課題であるので、可及的速やかに解消すること。

### 2 市民厚生常任委員会

#### しまびとジュニア支援事業について

本事業は、妊娠期から39歳までの支援が必要な子どもや若者に関する相談窓口となる子ども若者相談センターを設置し、各担当課と連携し対応していくものである。平成26年度新規事業として計上されたもので、市が想定する連携した対応ができるのか疑問が残るところである。よって、市は各担当課間の連携を密に当該事業を推進するとともに責任の所在を明らかにしておくべきである。



3月定例会においては、6人の議員が代表質問を、10人の議員が一般質問を行い、市政について質しました。本コーナーでは、その要旨を、議員の寄稿により掲載しています。



代表質問・一般質問



# ココが聞きたい!!

### 代表質問

- ◆ 新生クラブ 金田 淳一 議員 …… 6
- ◆ 市政2年間の自己評価と政策推進体制について
- ◆ 甲斐市長に猛省を促す
- ◆ 地域政策研究会 根岸 勇雄 議員 …… 7
- ◆ 緊急事態への対応について
- ◆ 島・三ツノフ 猪股 文彦 議員 …… 8
- ◆ 多様化ニーズに定める観光対策の具体化を
- ◆ 日本共産党 中村 良夫 議員 …… 8
- ◆ 安倍政権の暴走政治に
- ◆ 島民生活を守る防波堤の役割を果たせ
- ◆ 政友会 岩崎 隆寿 議員 …… 9
- ◆ 将来ビジョンにおける財政問題への対策は

### 一般質問

- ◆ 笠井 正信 議員 …… 9
- ◆ 佐渡の自然の恵みを生かした島づくりを具体的に問う
- ◆ 山田 伸之 議員 …… 10
- ◆ 市の防災計画、若者支援、ネット活用について問う
- ◆ 村川 四郎 議員 …… 10
- ◆ 畜産振興で「高千の牛市を守れ」
- ◆ 大森 幸平 議員 …… 11
- ◆ 希望退職者が異常 定年まで働ける体制を
- ◆ 加賀 博昭 議員 …… 11
- ◆ 両津病院の高台移築を急いで検討すべきだ
- ◆ 荒井 眞理 議員 …… 12
- ◆ 公金を充当する事業の審査はしっかり、厳しく
- ◆ 大澤 祐治郎 議員 …… 12
- ◆ 新庁舎は砂上の楼閣である
- ◆ 渡辺 慎一 議員 …… 13
- ◆ 地域の活性化は住民パワーを引き出すこと
- ◆ 中川 直美 議員 …… 13
- ◆ 消費税増税や社会保障改悪の中、合併10年を  
検証し市民との協働での将来ビジョンを
- ◆ 近藤 和義 議員 …… 14
- ◆ 不要となる防災無線施設の利活用

## 新生クラブ 代表質問

### 市政2年間の自己評価と政策推進体制について



金田 淳一 議員

**質問** 市政2年間の自己評価は。市長と副市長・各課長の連携はうまくいっているか。解決困難な課題に付き当たった場合の対応は。また、縦割り行政についてどう考えているか。

**市長** 当初約束した5項目について着実に実行しているつもりだ。2年間で大きな成果はないが、課題解決に向けた芽出しと橋渡しができてきている。企業連携・第二創業化・旅行誘致・大学連携など一歩も二歩も前に進んだと考えている。私は営業本部長として外へ出回っているので、留守中は副市長に片内のまとめを任せている。総合政策監は国の政策をどう佐渡の施策に反映できるか指示している。それらをまとめるのが総合政策課であり、縦割りの弊害についてもそこ

**質問** 市政2年間の自己評価をどうしているか。

**市長** 職員の仕事に対する士気の低下がないように、職員と話し合い配慮した。人事考課についても徹底していくことを約束する。

**質問** 安心して安全な暮らしを守る政策、特に医療従事者・介護職員確保と重度障がい者が利用する施設整備をどう進めるのか。

**市長** 医師については県から2名の派遣がある。今後継続と拡大を要望し、また佐渡出身の医師の方々と確保策の協議をしている。看護師については、26年度

**質問** 予算に島外で勤務される方への支援金を計上した。それと私達と病院長などで、積極的に島外の養成機関をまわり、募集・勧誘を進める体制を取っていく。

**市長** 介護職員も、島外大学や専門学校で進めている。処遇改善については調査・研究し、市としてどう支援できるか検討する。障がい者施設は、26年度中策定の第4期障がい福祉計画の中で検討していく。

**質問** 南佐渡中学校体育館建設が開校に間に合わない。生徒達に謝るべきではないか。

**教育長** 工事の遅れにより1学期の間使用できない。生徒達にとっては、新しい校舎・体育館での生活に胸膨らませたことと思う。それができなくなり、本当に申し訳なく思っている。

市政会代表質問

竹内 道廣 議員

甲斐市長に猛省を促す

**【質問】** 合併から丸10年が経過をした。合併特例の10年間という一番重要な期間に5000億もの大金を垂れ流し、何の成果も得られず、市民の期待と信頼を裏切り、ただ衰退に衰退を重ねている。高野前市長、甲斐現市長の2人の当事者の責任は極めて重い。やることなすこと間違いだらけの行政運営だ。

特定業者との癒着、便宜供与が目にあまる。また、数々の補助金の不正支出にはあきれ果ててものが言えない。倫理観の欠如と正義感の欠落がこんな失敗を繰り返しているのだ。猛省を促す。

**【市長】** 私は合併が良かった悪かったということではなく、佐渡市としてこれからどうするかということを考えていくべきだと思つてい

る。市長に就任してから2年間経過したが、5つの目標を掲げ、その実現のために日々努力している。その土台となる芽出し、橋渡しというものが悪かったとは思っていない。

**【質問】** 補助金の支出についてい

るんな点で今問題が起きていることについては、市民の方々におわびを申し上げたい。二度とこういうことが起こらないよう二重三重のチェック体制を構築し、新年度から取り組んでいく。



**【市長】** 佐渡汽船問題について。この際、佐渡汽船の株を買って進み佐渡市から役員を送り込んで、経営に参画すべきと考えるが、どう考えるか。

**【市長】** 佐渡汽船への経営参画については、新潟県と足並みを揃える必要がある。

**【市長】** 佐渡空港の問題について、これまでいろんな課題があった。それを一挙に解決するということはできないが、私の段階で決着をつける。

地域政策研究会代表質問

根岸 勇雄 議員

緊急事態への対応について

**【質問】** 災害時や緊急事態に現在の空港・港湾が活用できないことについて。

してもモノにしていかなければならないという覚悟である。

**【市長】** 空港港湾の問題は、市民の安全安心を守るとい

**【質問】** 新潟県空港条例第4条について。

う意味で重要な土台になると認識しており、特にご指摘があったように、国会の

これは新潟県の地域防災計画と県の空港条例との整合性を図ることが目的である。つまり、知事の許可を受けた場合はこの限り

にとつて大きな一歩であることにより、防災計画と空港条例が一体になった

ということである。このことにより、大型ヘリC/H47の離発着が可能になった。そういう点で、一歩も二歩も前進したものと捉えている。

**【市長】** 佐渡空港の問題について、これまでいろんな課題があった。それを一挙に解決するということはできないが、私の段階で決着をつける。

**【市長】** 今年の9月頃を目途に施設の今後の方向性を結論づけ、市民や関係者にその方針をお示しをしていきたいと考えているところである。



現在の佐渡空港  
(写真提供：新潟県佐渡地域振興局)

**【質問】** 国県の義務権限移譲について。



自由・三クラブ代表質問

猪股 文彦 議員

# 多様なニーズに応える 観光対策の具体化を



**【質問】** 26年度予算は合併以

来初めて60億もの減額予算となった。これは、佐渡市民が将来に不安を感じないよう、今から厳しい姿勢をとるといふ覚悟のメッセージと受け止める。しかし、地道な政策で佐渡の経済を守ることが最大の使命だ。

まず、低迷を続ける佐渡観光について。観光客のニーズの多様化への対応は大変だと考えるが、全国の観光地は対応しているのだから、佐渡も頑張らなければならぬ。そのひとつとして、真野から佐和田の海岸は、江ノ島、茅ヶ崎、大磯にも負けない良いところだと外国人や著名人の評価が高い。石田川、国府川に橋をかけて一層の整備をすべきではないか。

**【市長】** 観光客のニーズは多様化している。一に、周遊型広域観光の要として佐渡を位置づけ、二に、滞在型観光を確立、三に、地産地消を推進するなどしていく。

**【市長】** 一年間をかけて調査研究したい。

**【質問】** いじめをなくすため、相撲、空手、柔道、剣道などの武道を通じて、礼儀と気力、体力を養う教育が必要ではないか。保護者の多くは、社会に出てほしいと願っていると思うが、どうか。

**【質問】** U・Iターン対策として、「シルバータウン」構想についてPFI<sup>(\*)</sup>を利用して考えてみたかどうか。両津は市民病院や埠頭も近く土地もある。約500組の夫婦が来れば、介護や生活用品等の需要もあり、商業にも好影響がある。全国的にも計画されているところがある。考えたかどうか。

**【質問】** 安倍政権が進める消費税増税と社会保障削減、TPP推進、原発再稼働、集団的自衛権は地域経済に深刻な影響を及ぼす。市は島民生活を守る防波堤の役割を果たすべきではないか。

**【市長】** 国の動向を見極め、佐渡の実態に沿い、身の丈にあったサービス、生活と未来について住民と話し合い、進めていく。

**【質問】** 4月の消費税増税は、子育て世代にとって大変な負担になるので、小中学校の給食費値上げは、財政措置を講じて値上げを回避すべき。また、県立佐渡中等教育学校の学校給食は、県立と市立とで格差を生じさせないよう市が責任をもつて継続すべきではないか。



日本共産党代表質問

中村 良夫 議員

# 安倍政権の暴走政治に 島民生活を守る防波堤の役割を果たせ



**【質問】** 安倍政権が進める消費税増税と社会保障削減、TPP推進、原発再稼働、集団的自衛権は地域経済に深刻な影響を及ぼす。市は島民生活を守る防波堤の役割を果たすべきではないか。

**【市長】** 国の動向を見極め、佐渡の実態に沿い、身の丈にあったサービス、生活と未来について住民と話し合い、進めていく。

**【質問】** 4月の消費税増税は、子育て世代にとって大変な負担になるので、小中学校の給食費値上げは、財政措置を講じて値上げを回避すべき。また、県立佐渡中等教育学校の学校給食は、県立と市立とで格差を生じさせないよう市が責任をもつて継続すべきではないか。

**【質問】** 商店街活性化のため、月を締結した覚書のとおり、平成26年度末をもって中止させていたきたい。

**【市長】** 平成25年度からはまた生活保護の段階的な引下げが終了する平成27年度から新たな生活基準の1.3倍程度に引上げた。

**【質問】** 子どもの医療費助成制度を拡充し、高校卒業時まで無料とすべき。子どもの数による区別は全国で新潟県と熊本県だけだ。その解消を強く新潟県へ求めよ。